

みあさづくり



新行戴神社の秋祭り

9月24日に新行戴神社の秋祭りが行われました。写真は、神官とともに白装束の当番が幣帛料（へいはくりょう：神前にささげるものの総称）を新行公民館から戴神社神殿まで運んでいる様子を写したものです。



facebook



ホームページ美麻Wiki

地域の話題

一緒に楽しく踊りましょ

第40回大町やまびこまつりが8月4日に盛大に行われました。日中は足湯のサービス、源流美麻太鼓の演奏がありました。午後7時、やまびこ踊りスタートです。音楽にあわせ皆さん元気よく踊り始めました。

途中の休憩でのビールやジュースがとてもおいしかったです。今年は、猛暑の影響もあったのか昨年よりも参加者が少なかったように思われます。来年は大勢の皆さんの参加をお待ちしています。



大町美麻ロードレース大会開催

今年は、文部科学大臣杯第74回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）として、全国から216人の選手を迎え、9月2日に開催されました。

レースは秋空の中、女子は5周（67.0km）、男子は13周（174.2km）で争われました。

参加された選手の皆様、遠方より応援にこられた皆様お疲れ様でした。ボランティアでご協力いただいた皆様ありがとうございました。

紙すき体験に参加しまし

美麻小中学校生の児童生徒が、8月22日に麻入り和紙の紙すき体験を行う授業に、みあさ保育園の年長児も参加させていただきました。

腰原さんのご指導で、はがきサイズとA4サイズくらいの2種類の可愛らしい麻入りの和紙を作りました。参加した園児は、「ハガキは遠くに住んでいるおじいちゃんおばあちゃんにお手紙をつくりたい」と嬉しそうでした。



《《この人紹介》》

新行地区の定住促進住宅に引っ越してきました戸田 峻也（とだ しゅんや）と申します。大町に移住してまだ2年のビギナーです。

現在は、鹿島槍スポーツヴィレッジで働きながら田舎暮らしを満喫しております。鹿島槍スキー場にご来場いただいた方は多いかもしれませんが、実はグリーンシーズンも団体のお客様を中心に宿泊営業を行っております。自然を資産にしている仕事なので、四季や天候の変化を日々堪能できる楽しい仕事です。大町に移住したきっかけですが、東京で出会った友人から

の縁をどんどん紡ぎ、気が付いたら大町におりました。また、マーケティング、制作会社で働いていた経験から、現在も制作やプロモーション、企画等の仕事を担当しております。

美麻に移住してまだ半年ほどですが、地元の方々もすごくあたたかくて、楽しい毎日を過ごせています。今後は、山歩きや農業など、美麻らしい環境で暮らしの知恵や経験を蓄えていきたいと思っておりますので、これからよろしくお願ひいたします。

地域の話

猛暑の中2018美麻市「いーとこよっとくれフェア」開催

今年のかつてない暑さで「甘いスイカ割り」から始まり、平成元年に生まれた勇壮な源流美麻太鼓の演奏、農作物にはいつも悩ましされて厄介者のジビエ汁の振る舞い、お父さん・お母さん・おねいちゃん・お兄ちゃん達奮闘による自転車発電による「エコかき氷」、美麻1番地の付近（メイノ原）の湧水で育ったイワナ、子供たちが一番楽しみにしていた「ニジマスのつかみ取り」二重

自治会の皆さんによる自然の木の木工品づくりなど、お盆前の8月11日土曜日に、ほかほかランド美遊「道の駅」で開催しました。とおりのお客さんも、シカの肉？、塩焼きでなくイワナの揚げ？、一生懸命こいでの冷たいかき氷、、「市民カード」購入しての魚のつかみ取り大変満足したようでした。



ジビエ振興会さんによるジビエ汁の振舞い (上)

新行の皆さんによる岩魚の塩焼き (左)

夏季球技大会を開催

美麻地区夏季球技大会が8月19日ゲートボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボールの三種目が行われました。グラウンドゴルフには団体戦と、個人戦に5地区から合わせて48名が参加、ソフトバレーボール女子の部に5チーム、男子の部に6チーム、混合の部には4チーム、ゲートボールに2チームの参加があり選手149名が三会場で熱戦が繰り広げられました。結果グラウンドゴルフ団体には青具チームが2連覇、ソフトバレーボールでは混合の部を千見チームが連覇、新行チームが男子と女子の両部を熱戦の末勝利しました、またゲートボールは二重チームが連勝を重ね強さが際立っていました。

当日は真夏にも関わらず吹く風が心地よく絶好の大会日和となりました。

球技大会の練習から大会の準備、運営と大変ご協力頂きました関係者のご尽力に感謝いたします、ご苦労様でした。(美麻公民館)



【競技の結果】

- ゲートボール
 - 優勝 二重チーム
 - 準優勝 大塩チーム
- グラウンドゴルフ
 - (団体の部)
 - 優勝 青具A
 - 準優勝 青具B
 - 第3位 二重
 - (個人の部)
 - 優勝 横山和夫
 - 準優勝 若林光男
 - 第3位 江津貞夫
- ソフトバレー
 - (女子の部)
 - 優勝 新行女子チーム
 - 準優勝 青具コスモス
 - 第3位 青具なでしこ
 - (男子の部)
 - 優勝 新行男子
 - 準優勝 二重ベアーズ
 - 第3位 二重ゴールド
 - (男女混合の部)
 - 優勝 千見ヤングパワーズ



コミュニティ・スクールのお話

朝方まで大雨警報が発令され、激しい雨降りのあいにくの天候となってしまいましたが、9月1日（土）に今年の「美麻オープンスクール」を開校しました。本校の教育活動の柱である朝の「元気アップ運動」、また各クラスでの「協働の学び」を参観して頂きました。また、学校説明会では本校の成果と課題についてのご質問を頂くなど、熱心なご参加を頂きました。台風21号、北海道地震など、いつ自然災害に見舞われるか分からない昨今、公開後は地震に対する避難訓練と保護者への引き渡し訓練を行い、何かあった場合の備えを保護者の方々と確認することができました。今後ともご理解・ご

「美麻オープンスクール開校」&災害に備え…「引き渡し訓練」



協力のほどをよろしくお願いいたします。

プロセスから何を学ぶか



6月16日・17日に松本市広域公園体育館にて中学校総合体育大会中信地区予選会が行われ、美麻小中学校7年生～9年生のバドミントン部18名全員が大会に出場した。7年生初めての公式戦、8年生は来年に向けて自信をつけたい大切な一戦、9年生は人生に一度しかない中学校の部活動人生を締めくくる最後の試合・・・とそれぞれ思いを胸に試合に臨んだ。

30℃近くまで気温が上がった体育館で、一人ひとりが全力を尽くした。特に9年生の最後まで泥臭くシャトルを追う姿は、後輩たちの脳裏に強く焼きついただろう。残念ながら全員が予選リーグで敗退となり、次の大会に進むことはできなかったが、選手の振り返りの言葉にもあるように部活動にお

いて、結果ももちろん大切だが、引退の日までにどう練習に取り組み、仲間や監督と絆を深めることができたかがより大切だと感じる。辛い練習から逃げてしまったあの日、県大会達成に向かって家に帰っても毎日トレーニングに励んだ日々、部活動でしかできない仲間との絆、多くの人に支えられたという感謝の気持ちをもてた瞬間。9年生は引退しても、部活で学んだ多くの経験を次の人生のステップに是非生かしてほしい。そして7、8年生は9年生の涙をみて何を感じただろうか。上には上がいる。決して限界を決めず、高みをめざして全てをバドミントンにかける思いで毎日の生活を送ってほしい。それが生きる力となるだろう。

（記事作成：北澤 美可子）

LGBTについて学びました

9月12日（水）に「人権を考える市民の集い」が美麻地区で行われました。これは、大町市の各地区で行われている集いです。今年は6年榎本ゆう花さんと8年巻田陽也さんの意見発表、LGBT啓発講演家の長岡春奈さんの講演を行いました。

長岡さんからは、LGBTについてのお話をお聞きしました。小さな頃から性別違和に悩み、家族に

も伝えられない日々を送っていた長岡さん。友達からいじめられた経験も持ち「軽いいじめはない」との言葉には多くの子ども達が心を打たれたようで、感想に書いている子が多く見られました。自分自身や周りの人たちの性、友達との関わり方について学ぶことが多い時間となりました。

（人権・福祉教育担当：森田奈苗）



8年生 浴衣体験

学校支援ボランティアの話題

夏休み明けの8月28日(火)の5・6時間目に家庭科で8年生が浴衣を着る体験授業をしました。

丸山昭子先生に講師お願いし、最初は着物の歴史やいい所について話していただきました。おそらく初めて聞くことが多かったと思います。一生懸命メモをとる8年生の姿がありました。

いよいよ浴衣を着ることになりました。

講師の先生やボランティアの方のお手本を見ながら基本的には自分のことは自分でやりました。でも、見えない部分はお互い助け合いました。「着物を着た時には足をこうするときれいに見えるのよ」とのアドバイスに早速実行する女子の姿があり、かわいかったです。

そして移動する時は自然に内股で歩く姿が・・・

貴重な体験ができたことに感謝しています。



最後はみんなで記念撮影です

相手の立場に立って体験

毎年、社会福祉協議会の方々のご協力をいただき、5年生は「車いす体験」6年生は「手話体験」7年生は「アイマスク体験」8年生は「点字体験」9年生は「高齢者疑似体験」を行っています。

「安全に押すだけでなく、乗る人が安心して乗ってられるように動かすことが大切だと思いました。

(車いす体験)」「ガイドさんを信用していないと前に進むのが不安で大変でした。(アイマスク体験)」「字を読むときに色が見えにくいことがあり苦戦しました。おばあちゃんとかも見えにくいだろうなと思いました。なので、年

寄りにはせかさない方がいいな、と思いました(高齢者疑似体験)」子ども達は5年間続けて福祉体験教室を行うことで、5種類の体験を通して、色々な立場の人の気持ち

を理解し、寄り添っていくことの大切さを学んでいます。

(人権・福祉教育担当：森田奈苗)



自分を信じて 仲間を信じて チャレンジ!

8月29日・30日は、アドベンチャー体験学習。7・8年生が学年ごとのチームをつくり、皆で頭と体を使いながら数々の課題に挑戦しました。チャレンジ後のふり返りでは、本音で語り合う姿

もたくさん見られました。自分や友だちの新たな一面に気づきながら、個人のカや集団の力を高め、ひとまわり成長して帰ってくることができました (文責 竹村沙織)



とても大変でした。だけど、男女の距離が近くなった気がして楽しかったです。皆でぶつかり合ったときもあって、それがあったからこそ良かったのかなと思いました。この2日間で、たくさんの感情があふれでてきました。この2日間は、大切な時間でした。(8年 小林咲希)

たくさんやった活動の中で1番心に残っていることは、ロッククライミングです。私は、空中回路ではゆっくりしか進めないし、高いところは苦手でした。だから、これはびっくりでした。これからも「できない」で終わらせずにチャレンジするようにしたいと思いました(7年 間藤仁美)

職場体験学習

7月12日(木)・13日(金)に、美麻地区のいくつかの職場で7年生の職場体験学習がありました。それぞれの職場で真剣に話を聞き、ていねいに仕事をする姿が見られました。

「私が、この職場体験で一番心に残ったことは接

客です。練習の時はうまくいっても、緊張してしまいました。良い印象をもってもらうことは、思ったより難しいのかなと思いました。仕事量の多さにも驚きました。将来、この経験を生かせれば良いかなと思います。」



■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info